

業 務 の 名 称	流水型ダムを設置による上・下流河道における洪水時の砂の挙動、瀬淵構造の変化等を高精度に予測する手法の開発
業 務 概 要	本研究は、流水型ダムが上・下流河道の瀬淵構造の変化や砂床化に及ぼす影響を高精度に検討可能とすることを目指し、複雑な河道や河床形状を有する山地河川における流れの変化を予測する非静水圧準三次元二層流解析法を開発する(Q3D-FEBS-2L)。そして、Q3D-FEBS-2Lと掃流砂・浮遊砂の非平衡一体解析を組み合わせた砂の挙動や瀬淵構造の変化を予測する解析手法を構築し、川辺川令和4年9月洪水を対象に本解析手法の有用性について検討する。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 福田 敬大 茨城県つくば市旭1番地
契 約 年 月 日	令和7年6月13日
契 約 業 者 名	学校法人 中央大学
契 約 業 者 の 住 所	東京都文京区春日一丁目13番27号
契 約 金 額 (税 込 み)	¥8,591,000
予 定 価 格 (税 込 み)	¥8,591,000-
随意契約によることとした理由	本委託研究については、国土交通省水管理・国土保全局により設置された学識経験者等からなる河川技術評価委員会において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同委員会において審査基準に基づき審査された結果、令和6年1月、本研究課題及び委託先(中央大学竹村吉晴を研究代表者とする研究グループ)が選定されたものであり、令和7年2月に同委員会でも中間評価が行われ、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、新規採択時の審査基準、選定結果及び令和7年2月の中間評価結果等については、国土交通省水管理・国土保全局ホームページ等で詳細に公表されている。 以上のことから、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、上記委託先と随意契約するものである。
業 務 場 所	茨城県つくば市旭1番地
業 種 区 分	-
履 行 期 間 (自)	令和7年6月14日
履 行 期 間 (至)	令和8年3月27日
落 札 率	-
再 就 職 の 役 員 の 数	-
備 考	